

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。 ・音の重なりや和声の響きに重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。 ・音楽の楽しさを味わって聴き、様々な音楽に親しむようにする。 		
月	学習内容・到達目標	月	学習内容・到達目標
4	<p>くにつぼんのうた みんなのうた> <音の重なりとひびき> <演奏のみりよく> <物語と音楽></p> <p>・おぼろ月夜 ・マルセリーノの歌 ・カノン ・ハンガリー舞曲第5番 ・ロックマイソウル ・交響曲第5番 第1楽章 ・われは海の子 ・交響組曲「シェヘラザード」第1楽章</p>	10	<p><音のスケッチ></p> <p>・明日を信じて ・越天楽今様 ・春の海 ・ふるさと ・交響曲第9番 第4楽章 ・家路 ・さようなら ・別れの曲 ・君が代 ・校歌</p>
5		11	
6		12	<p>○イメージに合った音型を使い、反復、問いと答え、変化など音楽の仕組みを活用し、見通しをもって音楽をつくる。</p>
7	<p>○歌詞の内容を生かし、旋律の美しさを味わって表現する。</p> <p>○長調や短調の響きの変化を感じ取って表現したり聴いたりする。</p>	1	<p>○音楽の仕組みを生かし曲想をとらえて、楽曲に合った表現を工夫する。</p> <p>○日本の音楽の特徴を感じ取り、和楽器の音色を味わって聴く。</p>
9	<p>○声や楽器の響き合いの美しさや楽しさを味わって表現する。</p> <p>○声や楽器の響き合いの美しさや楽しさを味わって表現する。</p>	2	<p>○自分たちの気持ちを音楽に託して、友達と一緒に表現する喜びを味わう。</p>
		3	<p>○気持ちを音楽に託してつくられた作品について理解を深め、味わって表現したり鑑賞したりする。</p>

音楽科の評価

・音楽科では4つの観点で評価します。

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく潤いのあるものにしようとする。	音楽のよさや美しさを感じ取るとともに、楽曲全体の構成を理解したり、自由な発想を生かしたりして、表現や鑑賞の仕方を工夫している。	音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏するとともに、豊かな響きのある自然で無理のない声で歌ったり、音色の特徴を生かして楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。	楽曲の構成に気をつけながら、曲想を全体的に味わって聴く。

・次のような方法で見していきます。

発言内容 テスト 表情や態度の観察 演奏聴取 鑑賞態度の観察 学習カード 練習の様子 演奏場面の観察
グループの演奏聴取

おうちの方へ

・合奏や合唱を通して、自分で演奏できる喜びや友達と合わせる楽しさを感じるようにします。
・家庭でも習った歌を一緒に歌う、演奏を聴くなど子どもと共にお楽しみください。きっと懐かしい歌もあるはずです。